

学院からのお知らせ

当法人および設置する大阪観光大学、明浄学院高等学校は、建学の精神である「明く（あかく）、浄く（きよく）、直く（なおく）」の精神に則り、豊かな心と深い教養を備え、知性に輝く有為の人材の育成を目指し、4万有余の卒業生を輩出し創設以来97年の歴史を紡いでまいりました。

現在、その先人の精神を継承し、さらに「グローバル化する現代社会において、人類の幸福と発展に大きく貢献する人材の育成」を達成するために粉骨砕身して努力いたしています。

そのために、社会の信頼と負託を得て、すべての教職員・学生・生徒が教育・研究活動を遂行できる適正な環境を整備しながら、平成28年からの5ヵ年経営改善計画を遂行・推進しております。

スローガン「挑戦につぐ挑戦」

日本は現在、人口減少社会に直面しています。それは、我々日本人が、先人の誰もが経験したことの無い未知の領域に踏み込むものです。少子高齢化、地方衰退、地域間格差などが叫ばれ、多くの社会問題が顕在化してきています。現在、政府でもこの都市部一極集中・地方衰退に対応するべく「地方創生」、「一億総活躍社会」を重要政策として掲げ、地方の底力を活性化させようとしています。そのために、地方に位置する当法人も地域社会の中で、地域の魅力を磨くことによって法人自らを成長させていかねばなりません。ただ、現在の大学・高校志願者人口を考えれば、この苦境を乗り越えるための既存の方法論は役に立たず、新たな仕組みを構築し、私たちの手で新しい時代を切り拓いていくことが不可欠と考えています。

当法人も地方の一角の「大学・高校競争時代」の波の中にあります。

本来教学の目標を掲げなければならないかも知れませんが、ここではあえて困難に強い組織づくりに言及したいと存じます。

1. 強い組織を築く

「生き残りをかけて、競争に打ち勝つために強い組織を築く」とは、組織に属する全員が共通の目的を持ち合わせ、一人ひとりが担う役割とその意義を理解し、主体的に行動することによって、目的達成に向かう組織のことであります。強い組織には、「良い人材」が集まり「良い風土」が築かれます。これらは、組織に属する一人ひとりの高いスキルと継続的な行動によってつくられま

す。「役職が人を育てる」と言われるように、人は何かの役割を与えられ、それに適するための努力を重ねることで成長を遂げるのです。組織は人であり、人こそ財産です。教育の前にまず、教職員一人ひとりが組織に欠かせない財産であることを自覚し、組織で担う役割に責任持つよう指導いたします。また、教育を通して得られる多様な体験の中で、自己を磨き、成長させる姿勢を常に持って取り組んでもらいます。私自身も、熱意と創意工夫を持って積極的にチャレンジしてまいります。前向きな考え方で、何を目標とするかを明確にすれば、おのずと今後の役割はわかります。まずは、様々な改革に向かって飽くなき挑戦を行ないます。

2. 大学運営に関する基本姿勢

急速に進む社会や産業界のグローバル化の中で、これまでも地球上のどこでも活躍できる人材の育成や国境を越えた共同研究や教育に大学は積極的に取り組んでまいりましたが、さらに広域アジアとも友好を深め、相互信頼関係を築き、大学連携をさらに加速させてまいります。世界各国からの留学生の積極的な受け入れを促進するとともに、大学学生・研究生の海外派遣も一層推進する体制とします。本年度設置の別科（日本語学校）の充実で当大学への進学率アップなどを図ります。すでに今年度は予定通り定員充足を達成しており、今後の学生募集の安定化が別科で担保されているといえます。

また、明浄学院高等学校との高大接続を強化いたします。特に、「観光学と独自の英語教育方法であるCSJメソッド」を合言葉に、社会からの「英語の明浄学院高等学校・大阪観光大学」という呼称が定着するよう高大連携を図ります。もちろん、これら以外にも5ヵ年経営改善計画に従って、教学改革に全力で取り組みます。これらについては、学長を始め、各学部長を中心にすでにかんがりの成果を得ており、確かな手ごたえを感じているところです。

また、自治体との連携や地域創生への参画などを実現できる大学づくりを目指し貢献いたします。そして、キャリアセンター・国際交流センター・観光学研究所などの充実を図る所存です。

3. 高等学校運営に関する基本姿勢

大学同様、高等学校の生徒募集は少子化で悩みの多い問題です。今後は特進クラスに「スーパー特進」を設置し、緊密な教育を内容とする「明浄塾」の開始などで他校との差別化を行い、教育レベルのアップを図ります。また、クラブ特待生を減少し、財政の安定化を行います。高大接続を推進し、当学に進学できる生徒の確保を行うこととしています。今期、生き残りをかけて大きな転換の舵取りに着手しました。そのための、教職員の意識改革・カリキュラム変

更は急務で、高大接続の7年間教育（習熟度別クラス編成など）での教職員配置転換も加速を予定しています。また、校舎も老朽化による耐震問題も解決するべく100周年に向かって新築建設計画も進めております。

これらの改革に伴う痛みの中から生じた軋轢で、一部の関係者と思料される者から起こった理事会への解散要求などを狙った策略とこれに関連する心無い報道に、在校する学生・生徒・保護者及び関係者の皆様にご心配をおかけいたしております。

保護者会も同窓会も静観いただいておりますが、学院の名誉並びに信用を毀損し、業務内容に著しい影響を及ぼしていることも事実です。

それら関係者に対しては、日本タイムズ社を名誉棄損罪・信用棄損罪として刑事告訴し、既に警察に受理されました。また、それ以外の者に対しても、民事訴訟提起などの法的な手段をとっております。今後も新聞・ネットやテレビ放送を利用するなど報道の公平さを欠く、事実誤認の情報の拡散などに惑うことなく、そのような者に対しては断固闘う覚悟を持って改革に挑んでまいります。

最後に今まで、予算の重点化や人員の配置・再配置などにより、機能強化を図りました。引き続き改革を推進し、時代や社会の変化にスピード感をもって対応できるよう、迅速・的確な意思決定システムを確立しております。その強い組織力をもって、国及び社会からの評価を一段と高め、科学研究費補助金や寄付金など外部資金のさらなる獲得を行い、将来にわたり安定的な財政基盤を確立したいと考えています。さらに社会環境の変化および社会ニーズに迅速にかつ的確に対応し、ここ大阪の「知の拠点」として地域の発展につながる当法人の役割を理解し、国際理解教育の現場としても、常に存在感のある法人（大学・高等学校）としてさらなる発展を目指すことで社会的責任を果たすことをお約束いたします。

オンリーワンの大阪観光大学・明浄学院高等学校を必ず確固たる信念を持って実現いたします。

平成29年12月11日

学校法人明浄学院
理事長 大橋 美枝子